

Defi Meter C アプリのご使用方法

ご使用前の準備

① アプリインストール

Google Play アプリを起動し、検索で“Defi Meter” と入力すると検索できますので、“Defi Meter C”アプリをインストールしてください。

② Smart Adapter／Smart Adapter W とのペアリング

【Smart Adapter の場合】

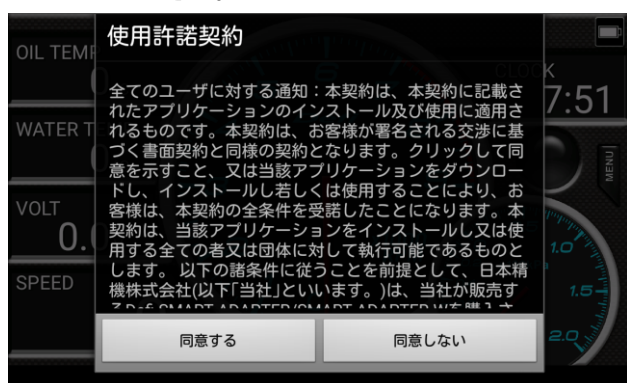
Smart Adapter の動作表示インジケータが1秒に1回の点滅をしていることを確認し、携帯端末の Bluetooth 設定から端末のスキャンを行って、“Defi BT-Adp **BT アドレス**”とペアリングしてください。ペアリング時に PIN コードを要求されたら、“0123”を入力してください。ペアリング方法の詳細は携帯端末の取扱説明書を参照ください。

【Smart Adapter W の場合】

Smart Adapter W の動作表示インジケータが1秒に1回の点滅をしていることを確認し、携帯端末の Bluetooth 設定から端末のスキャンを行って、“Defi Smart Adapter”とペアリングしてください。PIN コードの表示画面が表示されるので、「ペア設定する」をタッチしてください。ペアリング方法の詳細は携帯端末の取扱説明書を参照ください。

【Smart Adapter／Smart Adapter W との接続】

- ① アプリを起動しますと使用許諾が表示されますので、記載事項に同意していただければ、『同意する』をタッチしてください。

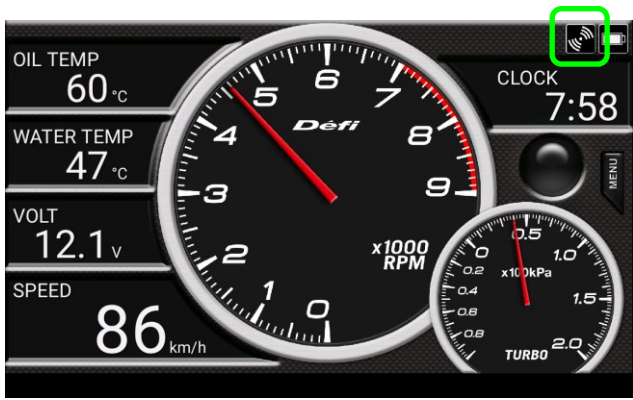


注：SD カードがないとアプリが動作しません。

- ② 画面右の MENU ボタンを押すと画面下にメニューバーが表示されるので、『通信』にタッチすると、Smart Adapter は『Defi BT-Adp **BT アドレス**』、Smart Adapter W は『Defi Smart Adapter』が表示されますので、タッチしてください。



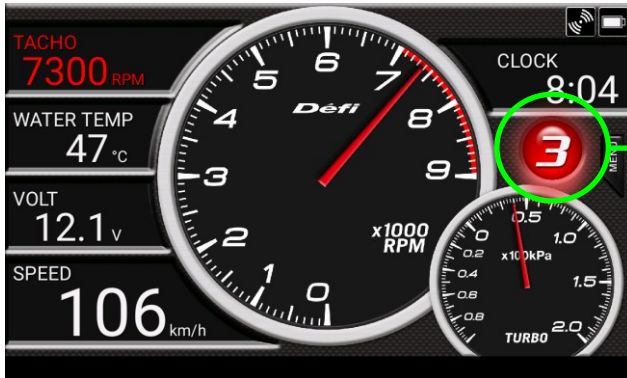
- ③ Smart Adapter／Smart Adapter W との接続が完了すると、画面上部の残電池表示の左側に接続中インジケータが表示されます。



【表示画面説明】

表示画面上で左右フリックすると、メーター表示とタイム計測表示を切り替えることができます。

メーター表示



REV インジケータ
(ギアポジション表示エリア)

タイム計測表示



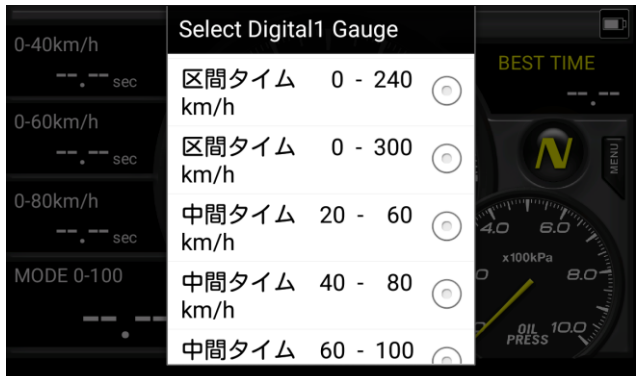
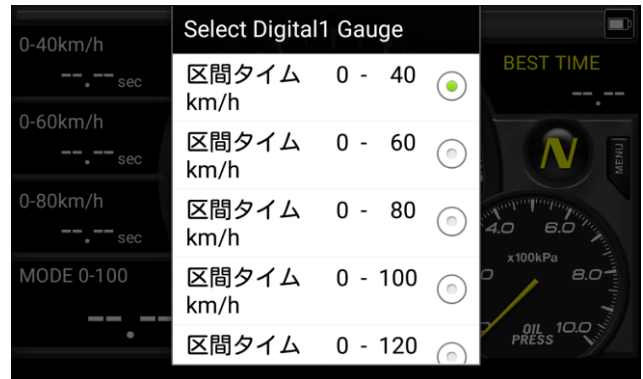
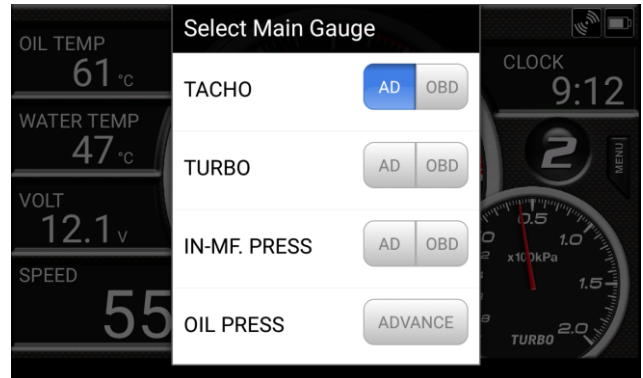
現在選択されている計測モード
でのベストタイム表示

計測状態表示および
REV インジケータ
(ギアポジション表示エリア)

【表示機種変更】

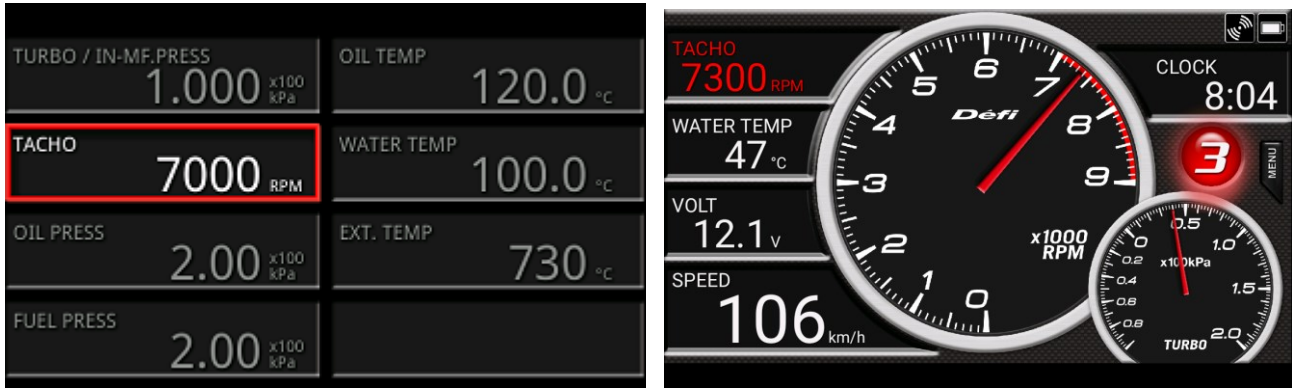
表示画面のデジタル数値表示 4 箇所について、表示を変更したいエリアをタッチすると、表示機種を選択できます。アナログメーターはメーターの中心部をタッチすると、表示機種を選択できます。

- ・メーター表示のアナログ機種とデジタル機種、タイム計測表示のアナログ機種で、選択できる機種
 ADVANCE とリンク接続時 : 車速、タコ、ターボ、インマニ、油圧、燃圧、油温、水温、水温、排気温度、電圧
 OBD II 接続時 : 車速、タコ、ターボ、インマニ、燃圧、水温、電圧、スロットル開度、吸気温度
 ※ デジタル数値部は Blank (機種表示しない) も選択できます。
 ※ OBD II 接続時の表示機種は、車種によって表示できるものとできないものがあります。
- ・ADVANCE と OBDII 両方接続時は、表示機種によっては ADVANCE Control Unit と OBDII からのどちらかのデータを表示することを選択できます。
- ・タイム計測表示のデジタル表示で、選択できる項目
 計測タイム : 計測開始してからの経過時間、ゴールした時の計測タイム
 区間タイム : 0-40km/h、60km/h、80km/h、100km/h、120km/h、160km/h、200km/h、240km/h、300km/h
 (0-30MPH、40MPH、50MPH、60MPH、80MPH、100MPH、120MPH、160MPH、200MPH)
 中間タイム : 20-60km/h、40-80km/h、60-100km/h、80-120km/h、100-160km/h、140-200km/h、
 180-240km/h、220-300km/h
 (20-40MPH、30-50MPH、40-60MPH、50-80MPH、60-100MPH、80-120MPH、100-140MPH、
 120-200MPH)



【(ADVANCE Control Unit)ワーニング設定】

ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ単押し)



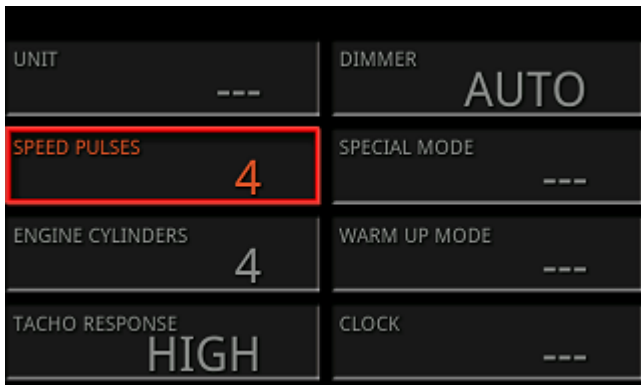
デジタル数値機種がワーニング状態と判定されると赤色で表示され、タコメーターがワーニング状態と判定されると、REV インジケータが赤色で表示されます。

設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

※詳細は ADVANCE コントロールユニットの操作説明をお読みください。

【(ADVANCE Control Unit)システム設定】

ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ長押し)



コントロールユニットの UP/DOWN スイッチで項目を選択し、WARN SET スイッチを押すと設定内容を変更できます。設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

表示	設定	設定値
UNIT	単位設定	※
SPEED PLUSES	車速パルス設定	2,4,8,16,FREE
ENGINE CYLINDERS	気筒数設定	1,2,3,4,5,6,8
TACHO RESPONSE	タコメーターレスポンス設定	HIGH,MID,LOW
DIMMER	調光設定	※
SPECIAL MODE	スペシャルモード設定	※
WARM UP MODE	ウォームアップ設定	※
CLOCK	時計設定	※

※ADVANCE ZD での設定項目で、本アプリでは設定できません。

※詳細は ADVANCE コントロールユニットの操作説明をお読みください。

- ・ 車速パルス設定
車の仕様に応じて変更する必要があります。日産車以外では4パルス設定に設定してください。車速パルスが分からない場合や、補正したい場合は FREE を選択し、60km/h(40MPH)で走行中にその時入力されている車速パルス情報を 60km/h(40MPH)と記憶して設定することができます。
- ・ 気筒数設定
エンジン気筒数に合わせて設定してください。
(点火信号を入力している場合は、1または2気筒設定で正常に動作する場合があります。)
- ・ タコメーターレスポンス設定

タコメーターの応答性を設定します。HIGH にすると応答性が速く、LOW にすると遅くなります。

【ワーニングブザー設定】 MENU ボタン→『設定』→

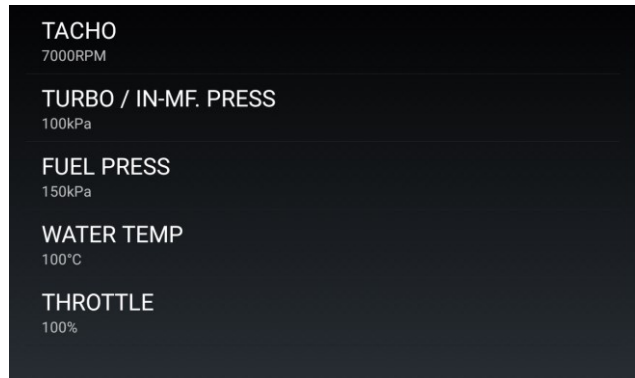
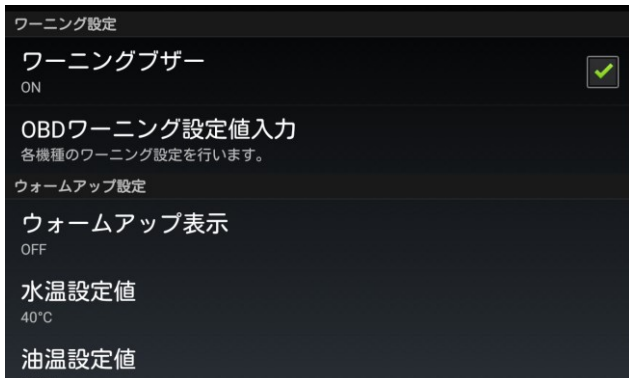
チェックボックスにチェックすると、ON になります。

ワーニングブザー設定を ON にすると、ワーニング発生時に警告音が鳴ります。

【OBD ワーニング設定】 MENU ボタン→『設定』→

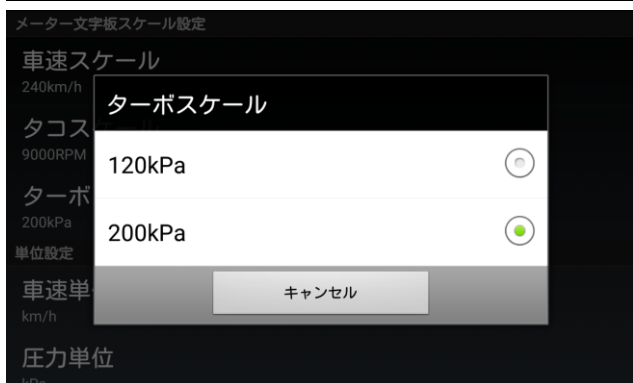
OBD II に接続して使用している場合に、OBD ワーニング設定が有効になります。

『TACHO』	: エンジン回転数のワーニング設定	0 ~ 11,000rpm
『TURBO/IN-MANI PRESS』	: 吸気圧のワーニング設定	-100 ~ 200kPa (-14.5 ~ 29PSI)
『FUEL PRESS』	: 燃圧のワーニング設定	0 ~ 600kPa (0 ~ 87PSI)
『WATER TEMP』	: 水温のワーニング設定	0 ~ 150°C (32 ~ 302° F)
『THROTTLE』	: スロットル開度のワーニング設定	0 ~ 100%



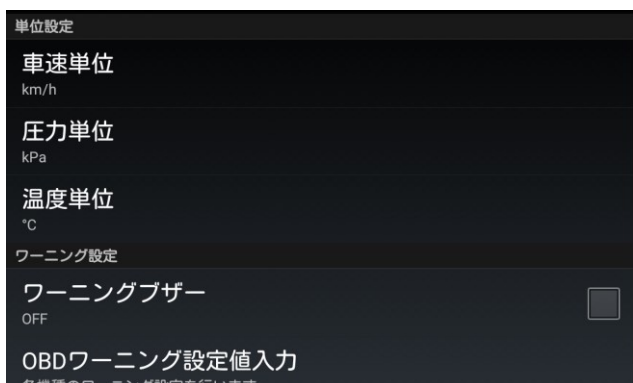
【車速、タコメーター、ターボ計のフルスケール変更】 MENU ボタン→『設定』→

- 『車速スケール』 : 車速のフルスケールを 180km/h、240km/h、300km/h、400km/h の 4 種類から選択できます。
(※ 車速単位設定=MPH の時は、120MPH、160MPH、200MPH、250MPH の 4 種類)
- 『タコスケール』 : タコメーターのフルスケールを 5,000rpm、7,000rpm、9,000rpm、11,000rpm の 4 種類から選択できます。
- 『ターボスケール』 : ターボ計のフルスケールを 200kPa、120kPa の 2 種類から選択できます。
(※ 圧力単位設定=PSI の時は、15PSI、30PSI の 2 種類)



【車速、圧力、温度の単位変更】 MENU ボタン→『設定』→

- 『車速単位』 : 車速計の単位を km/h、MPH から選択できます。
- 『圧力単位』 : 圧力計の単位を kPa、PSI の 2 種類から選択できます。
- 『温度単位』 : 温度計の単位を °C、°F の 2 種類からから選択できます。

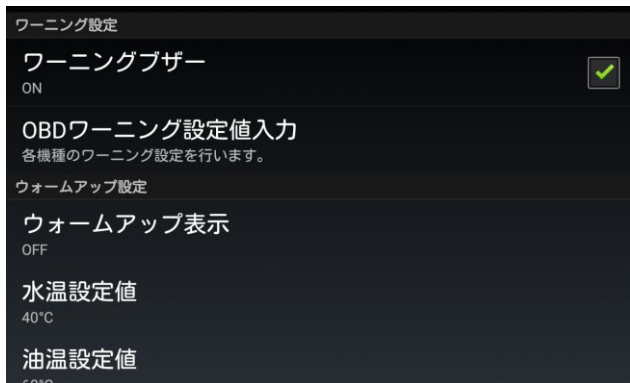


【ウォームアップ設定】 MENU ボタン→『設定』→

『ウォームアップ表示』 : 水温、油温、水温+油温、OFF のいずれかを選択します。
ウォームアップ表示で選択された機種は、以下の設定温度に達するまでウォームアップ中(暖気中)と判断され、デジタル表示値が青色で表示されます。

『水温設定値』 : 0 ~ 150°C (32 ~ 302° F)の範囲で設定できます。

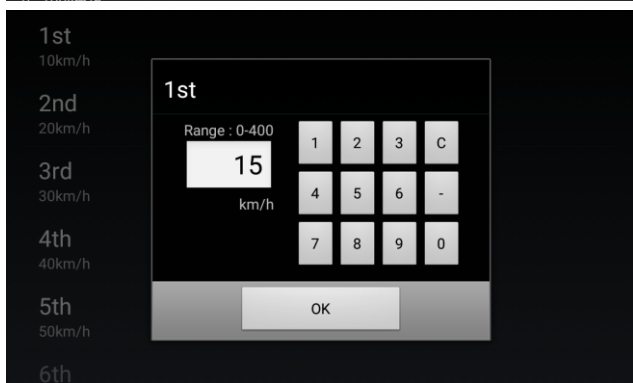
『油温設定値』 : 0 ~ 150°C (32 ~ 302° F)の範囲で設定できます。



ウォームアップ中表示

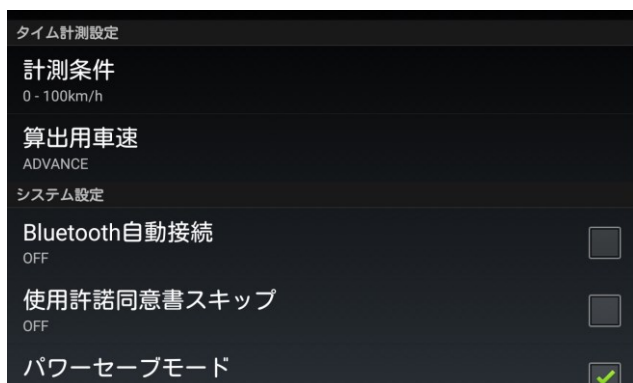
【ギアポジション設定】 MENU ボタン→『設定』→

- 『ギアポジション表示』 : チェックボックスにチェックすると、ON になります。
ギアポジション表示を ON にすると、メーター表示画面で REV インジケーターの位置に、現在のギアポジションが表示されます。
- 『ギアポジション適用範囲』 : 最高ギアが何速まであるかを設定します。
- 『ギアポジション算出用車速入力』 : 各ギアポジションで、エンジン回転数が 2,000rpm のときの車速値がいくつかを入力します。この設定を行わないと、ギアポジションが正確に表示されません。
- 『算出用車速/回転数』 : ギアポジションの計算に使用する車速と回転数は、コントロールユニットと OBDII のデータのどちらかより選択できます。



【タイム計測設定】 MENU ボタン→『設定』→

- 『計測条件』 : タイム計測のモードを下記の条件から選択します。
0-60km/h、0-80km/h、0-100km/h、0-120km/h、0-160km/h、0-200 km/h、
0-240 km/h、0-300km/h
(0-40MPH、0-50MPH、0-60MPH、0-80MPH、0-100MPH、0-120MPH、
0-160MPH、0-200MPH)
- 『算出用車速』 : タイム計測の計算に使用する車速と回転数は、コントロールユニットと OBDII のデータのどちらかより選択できます。



【システム設定】 MENU ボタン→『設定』→

『Bluetooth 自動接続』

: チェックボックスにチェックすると、ON になります。
Bluetooth 自動接続を ON に設定すると、アプリ起動中に
Smart Adapter / Smart Adapter W との接続が切断されている場合に、
自動で接続されるように動作します。

『使用許諾契約書スキップ』

: チェックボックスにチェックすると、アプリ起動時に表示される使用許諾ウィンドウが
表示されません。

『パワーセーブモード』

: チェックボックスにチェックすると、スマートアダプターと接続中に、車速 0km/h が
10 秒以上続いたときに、バックライトを自動で暗くして消費電流を減らします。
ただし、携帯端末の機種によって正常に動作しない場合があります。

『OBD 車速補正』

: OBD II に接続して使用している場合に有効になります。
OBD II から入力した車速値に対して、-10%~+10%の範囲で補正できます。
初期値 : 3%



『スロットル開度キャリブレーション』

: OBD II に接続して使用している場合に有効になります。
スロットル開度キャリブレーションを行うと、全閉時に0%、全開時に 100%と
表示することができます。初期値を選択すると、キャリブレーションをせずに
OBD 入力値のまま表示します。



【表示設定】 MENU ボタン→『設定』→

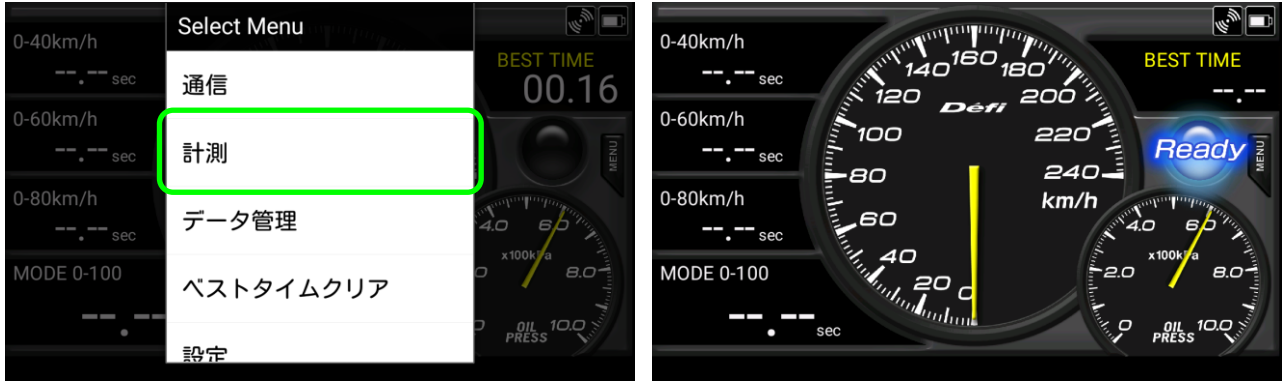
『表示色』 : WHITE、PINK、AQUA、BLACK の 4 種類と、円状のカラーから選択できます。



『HUD 表示』 : チェックボックスにチェックすると、Head Up Display 表示となり、メーター表示がミラー反転して表示されます。夜間にフロントガラスなどに映して表示することができます。



【タイム計測】 タイム計測表示でメニュースイッチ→『計測』



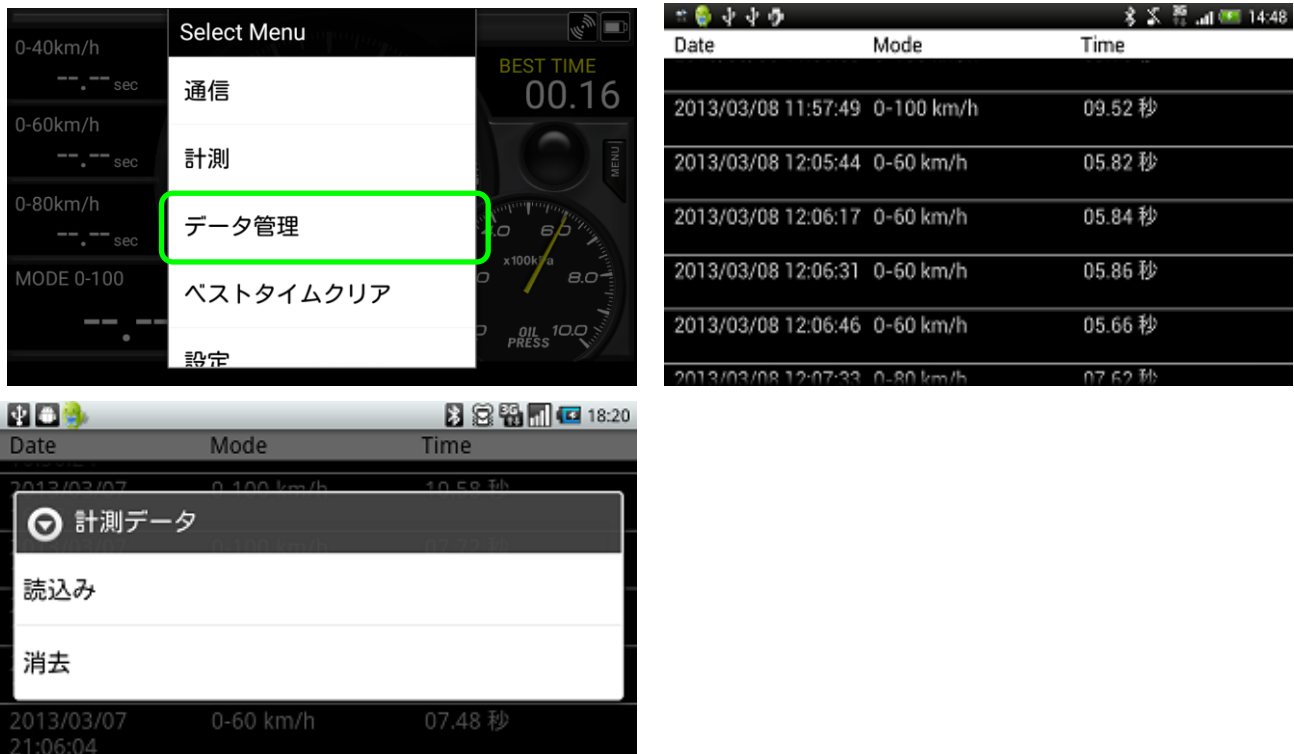
メニュースイッチの計測をタッチすると計測待ちになります。
 車速が入力されていると Ready 表示にならずに計測が開始されません。
 計測を行うときは一度停車して Ready が表示されている状態にしてください。
 Ready が表示されているときに車速パルスが入力されると、自動的にカウントがスタートし、
 設定した車速になるとカウントがストップします。

【ベストタイムクリア】 タイム計測表示でメニュースイッチ→『ベストタイムクリア』



各計測条件でのベストタイムがそれぞれ記録されていますので、クリアしたい計測条件にチェックして OK を押すと、
 ベストタイムがクリアされます。

【記録したデータの呼び出し、削除】 タイム計測表示でメニュースイッチ→『データ管理』



データ管理を選択すると計測したデータがリスト表示されます。タッチするとデータが読み込まれます。
 計測データを消去したい場合は、リスト表示でデータを長押しするとダイアログが開きますので、消去を選択してください。

【背景変更】 MENU ボタン→『背景』



「選択」を選ぶと、画面背景を変更することができます。
元の Defi 背景に戻りたい場合は、「Defi 背景」を選択します。